

日本林業

● 2022年12月号 ●

発行日：2022年12月 9日

発行：一般社団法人 日本林業協会

〒 112-0004

東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル3階

TEL. 03-6801-8931 FAX. 03-6801-8932

編集・発行人 島田 泰助

「木材利用推進全国会議」令和4年度総会が開催

協会からの

情報提供は

- ・一般向け情報誌
『森林と林業』
(毎月25日発行)
- ・会員向け情報誌
『協会報日本林業』
(毎月5日発行)

いずれも土日祭日は繰り下げる発行となります。

.....

目次：

木材利用推進全国会議」総会が開催	1
林活地方議連全国連絡会議役員会	2
要請活動 および 要請書	2 ～ 3
森林のしごとガイド ス 4都市で開催	4
国会・業界 行事日程(11月)	

11月22日(火)、東京都・高知県・経済同友会が事務局を担う『木材利用推進全国会議』の令和4年度の理事会・総会が開催されました。

当会からは事務局長の肥後が出席しました。

理事会では総会に諮る議案の審議が行われ、円滑に審議が進んで全議案が原案通り了承されました。

続いて総会が開催され、冒頭、櫻田会長の挨拶、理事の小池東京都知事のビデオメッセージに続き、濱田高知県知事による「木材利用の促進に向けた高知県の取組」と題したプレゼンテーションが行われました。

その後、総会審議に入り、「2022年度活動経過の報告と当面の運営方針」及び「自主宣言」策定の呼び掛け等に関する審議が行われ、事務局の説明通り了承されました。

続いて講演に移り、ミラノ万博の日本館を設計された北川原温建築都市研究所の代表取締役所長・北川原温氏が「未来」と題して木造建築の文化的意義と可能性について講演しました。最後に、理事の全国森林組合連合会・中崎代表理事長の閉会挨拶が行われ、総会が滞りなく終了しました。



櫻田代表の挨拶



小池都知事の挨拶



濱田高知県知事の講演



北川原氏の講演



中崎会長の閉会の辞

林活地方議連全国連絡会議の令和4年度第2回役員会 及び要請活動の実施

11月17日(木)、「森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議」の令和4年度第2回役員会が開催されました。冒頭、服部宏昭会長(長野県議会)の挨拶に続き、来賓の島田日本林業協会会長の祝辞の後、議事に入りました。

まず、「林野関係予算に関する要請書」及び要請先の審議を行い、満場一致で承認されました。

続いて、記念講演に入り、林野庁森林整備部の小坂部長から、「最近の林政の状況について」をテーマに3つの資料を使った懇切丁寧な講演が行われました。

終了後すぐに要請活動に移り、タクシーに分乗して衆議院第2議員会館に向かいました。要請活動を行った自民党の議員は、①農林・食料戦略調査会の江藤拓会長、②林政対策委員会の中谷元委員長、③農林部会の武部新部会長、④森林(もり)都市(まち)木造化推進議連の吉野正芳会長、⑤林政対策委員会の金子恭之前委員長、⑥森林整備・治山事業促進議連の山口俊一会長の6名です。特に、武部部会長ご本人が要請書を受け取ってくださるとともに、役員との懇談の場を持ってくださいました。

議員への要請活動を終えた役員の方々は林野庁へ向かい、織田央長官に要請書を手交しました。織田長官は親しく林野庁の令和5年度予算や補正予算の内容及び地域活性化に向けた新たな施策等について説明されるとともに、各地域の実情に耳を傾けていただきました。限られた時間ではありましたが、各地から参加いただいた役員の方々には充実した要請活動になりました。



林野関係予算に関する要請書

令和4年11月17日

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議 (林活地方議連)

森林・林業・木材産業を巡っては、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、これまでの取組によって、国産材の供給量が拡大するとともに林業産出額や林業従事者給与も増加するなど良い流れが生まれており、この流れをさらに大きく確実なものとしていくことが重要である。

一方、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、我が国最大の吸収源として森林・木材の最大限の貢献が求められているとともに、近年、地球温暖化の影響により、局地的な豪雨・豪雪、大型の台風等により全国各地で大規模な山地災害が頻発している。

さらに、昨年来のいわゆるウッドショックによる影響に加え、今般の円安やロシアによるウクライナ侵攻など、木材需給の不透明さが増している状況にある中、経済安全保障の観点からも海外情勢の影響を受けにくい木材の需給構造を早急に構築することが必要となっている。

については、森林資源の循環利用を確立し、カーボンニュートラルや国土強靭化、さらには地方創生や経済安全保障にも貢献する「森林・林業・木材産業によるグリーン成長」を実現すべく、森林・林業・木材産業施策の総合的かつ計画的な推進に向け、次の事項の実現を強く要望する。

1 森林吸收量の確保・強化や国土強靭化に向けた森林整備・治山対策の加速

森林吸收量の確保・強化や国土強靭化に向け、間伐の着実な実施に加え、主伐後の再造林、林道をはじめとする路網整備、病虫害対策等に必要な予算を十分に確保すること。

また、災害から国民の生命・財産を守っていくため、荒廃山地の復旧対策をはじめ、山腹崩壊・流木・土石流対策等の事前防災・減災に向け、治山対策の予算を十分に確保すること。

さらに、これらの対策を着実に実施するため、事業の円滑な発注及び施工体制の確保に向けて取り組むこと。

2 海外情勢の影響を受けにくい木材の需給構造の構築

製品の供給力強化に向けた木材加工流通施設の整備、原木の供給力強化に向けた搬出間伐や主伐後の再造林対策、林道等の路網や高性能林業機械、苗木生産、森林資源情報など生産基盤の整備、新規参入支援も含めた担い手の確保・育成、さらには、製材やC L T等の木材利用の促進による国産材の需要拡大など、国産材の安定的かつ持続的な供給体制の強化に向け、川上から川下までを通した総合的な対策を強力に推進すること。

3 林業の収益性や安全性を飛躍的に向上させるスマート林業の推進

伐採から再造林・保育に至る収支をプラス転換するとともに若者・女性・高齢者等にも働きやすく安全で魅力ある「新しい林業」の実現に向け、異分野の知見や技術、人材を活用しながら、新たな技術の導入による経営モデルの構築、エリートツリー等の生産拡大、I C T・レーザー計測等の活用による森林情報の精度向上・高度利用、遠隔操作・自動操作機械や木質新素材の開発・実証、さらには、地域一体となって林業活動にデジタル技術をフル活用する取組を支援するなど、林業のデジタル化とイノベーションを推進すること。

4 林業・木材産業における「人への投資」

「緑の雇用」事業等による林業従事者の確保・育成や労働安全対策の強化等の取組の支援を一層推進するとともに、造林に係る林業経営体の新規立ち上げへの支援や林業高校・林業大学校等における人材育成への支援、デジタル技術を含む多様な技術の習得等に対する支援を強化するなど、多様な担い手の確保・育成の取組を推進すること。

5 関係人口の拡大等による山村地域の振興

我が国全体が人口減少時代に突入する中、森林の管理や利活用が適切に実施されるよう、「関係人口」や「交流人口」の拡大に向けた森林空間利用等の創出、地域住民やN P O、自伐林家等の多様な主体による森林管理活動への支援、バイオマス資源の有効活用、特用林産物の生産振興支援等、山村振興対策の充実を図ること。

全国森林組合連合会が「森林(もり)の仕事ガイダンス2022」 4都市で開催 2,099人が就労相談に参加



開催地	開催日	会場	相談者数
名古屋	9月23日（祝）	名古屋コンベンションホール	265人
大阪	10月8日（土）	OMM-Aホール	411人
東京	10月22日（土）	東京国際フォーラムホールE2	1,164人
福岡	11月5日（土）	エルガーラホール 大ホール	259人

林業就業支援の一環として全国森林組合連合会（代表理事長・中崎和久）が主催する「森林（もり）の仕事ガイダンス2022」が今年も、名古屋（9/23）、大阪（10/8）、東京（10/22）及び福岡（11/5）の四会場で行われ、合計で2,099人の参加がありました。

「森林の仕事ガイダンス」は、「緑の雇用」新規就業者育成推進事業の実施主体である全国森林組合連合会が、新たな林業の担い手の確保・育成を目的として行っている就業相談会で、会場には「総合相談ブース」のほか、林業労働力確保支援センター等による「都道府県相談ブース」等も併設されました。会場では各種就労相談等が無料で受けられることから、Iターン、Jターン希望者にとって有効な情報提供の場となっており、平成15年（2003）の「緑の雇用」事業のスタートから19年間で2万1千人を超える新規林業就業者が誕生するという成果を上げています。

なお、今回のガイダンスから「マッチング支援」として林業現場を実際に訪問する等の取組も新たに始まりました。

令和4年11月 国会の動き

《国会関連》

- 1日（火）衆・本会議（民法法案趣説、大臣所信質疑）
 - 2日（火）衆・農水委（競馬法案質疑）
 - 8日（火）衆・本会議（一般質疑）
 - 10日（木）参・農水委（競馬法案質疑）
 - 11日（金）参・本会議（感染症法案質疑）
 - 15日（火）衆・災対特委（大臣所信に対する質疑）
 - 16日（水）参・災対特委（大臣所信に対する質疑）
 - 18日（金）参・本会議（民法案 趣説・質疑）
 - 21日（月）衆・本会議（国務大臣演説に対する質疑）
 - 22日（火）衆・本会議（帰朝報告・質疑）
 - 25日（金）衆・予算委（令4第2次補正予算案基本的質疑）
 - 28日（月）衆・予算委（令4第2次補正予算案基本的質疑）
 - 29日（火）衆・予算委（令4第2次補正予算案集中審議）
 - 30日（水）参・予算委（令4第2次補正予算案総括質疑）
- 《政党関連》
- 10日（木）自・政調/総合農政/農林（R5税制改正要望）
 - 15日（火）自・政調/総合農政/農林（クリーンウッド法年後見直し等について）
 - 21日（月）自・政調/環境温暖化対策調（COP27について）
 - 30日（水）自・政調/総合農政/農林（R5予算編成大綱）

令和4年11月 業界の動き

- 9日（水）ウッドデザイン賞2022発表
- 9日（水）SGEC/PEFCジャパンがユニ・チャーム株式会社との森林認証共同推進を発表
- 10日（木）農林水産祭参加全国林業経営推奨行事賞状伝達式（大日本山林会主催・石垣記念ホール）
- 10日（木）林政審議会委員の公募告知（提出期限11月30日当日消印有効）
- 15日（火）林政審議会施策部会（R4森林・林業白書）
- 17日（木）森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟全国連絡会議 第2回役員会
- 22日（火）木材利用推進全国会議（代表：経済同友会代表幹事櫻田謙吾）総会（第一ホテル東京）
- 22日（火）R4年度中央国有林材供給調整検討委員会（農林水産省特別会議室）
- 24日（木）R4国有林野事業業務研究発表会